(数六金国定即一) 一三目了一型平太医中肝故草 胜湖日遠草 社會查合 所行整 平 土 占 高 人行養性用 点 温 即 件 人 一概 句

中でないので、一つでは、三世の

であ 物を密整がなるので、野が戦 ずる整数なる実施の記録に続った。 物を内の観察は続くい 月十八月信仰系統の一の舞りを演ぶただい。 日十八月信仰系統の一の舞りを演ぶたった。

重要部に軍大打撃を辿り て基地への帰途因いで途中の「壁」

たのみで工場施設には全然被除なく勿跡生動、抵認には此がの支障もない

【類問問題】今間の前側に帰しく経過額所に若干の被陥を受けたが瞬員中軽陽者」をつ当し

幡製鐵所操業支障なし

である。しかしてわが万の投密は 落概ね確質と見られるもの

▼ 億大なるかな。域別、窓内なる道 ・ の る個層によりて瞬に大道高で設へ ・ のである。 ・ のでる。 ので

邊陬の民家を

数に機能を落し、しかも直に難で

一般として記憶の研究観響を整くて に来越とたが、わが地上側次の帯 に来越となが、わが地上側次の帯

穏彼なもので あつたに 比し敵であるが、しずもわが被害は人

高數研究

六月號

是 五元

鑑市領地の僅か一町そこそ此地

したるほか制管部域および地上 上部隊に戦死三名、負別三名を

医、これこそわが感情の観空陣標

でとする炭膜粒機液医院におい

の宣原的効果を狙って新門B19を 州第二戦線に呼吸し到日同時で攻

まはら敵機監察七機

上に落下せる るものくみで

海上遙かに邀撃

地道

2れに被害を明へることなく

すっ

を見舞ひ芸譜り米その他の食糧をでは阿部本部長が早朝から確災者

響い、生家を失る

個に起くものであるとはいへ敢 を持つて栄塵し来ったことは想

天秤に闘する物象と破影……別短目の観察とは何か………

関する以上それが場合政治的企 同語はわが、将正面における最

一般を整へて教 に観光者に假設

かし世界の戦鬼とは進撃の限成

原同研究による数型・物級**療成…**

20一六个三京東督报

空文されだし。六月號後のれの節は七月號より正文語誌は登切詞につき主統被台灣語に本版管を信提示

その敗肢を腐敗されて運走した

副網の腕を見せるはこの時と瞬一酸に思究を期して

逐心總退却

レル前面の戦果

擴大

者の機骸が鈍る所に散鬼する疑理を散へてし、自ら破滅を求めた敗 を無限し顕然と減じて無謀な進品

を無視し、既生若子の成功に限ひた無い。 医生若子の成功に限ひ

とは必至と確信されるとはいへ、

A A A

號月六

自民観然として新ひ起ち日頃 早朝江州諸報館令される 数桶の防空壁に冒続を行ったまま一番り民心は寂寞し、また防衛本部

8

けたが、それらの担害はいふに足軍無工場、病院に若干の彼前を受

盟官民一致の消火活動によりこれ

うて数ケ所に火災を生じたが、

吸めようとは著へられない、第二 の衝敗に遭ってもなほその斧允をに思った凱歌である、たが泣はこ

したが、その一つ酸米空間の狂暴

【編輯包括】北九州地區と深速し

機
怒
性
に
附
近
に
聚
は
慮
係
し
て
る
る
一
蔵
と
未
敢
な
る
わ
が

敵襲下の措

過に、肥成語報に入った

に終ったのみで

として態定し、却つてわが縁痛破十般といふ打陸を受け、萬昌

田は無防崎地區と落下した炭酸に を破機は盲婦の限りを

際して

遺伝

いへがむしやらにわが本土をいる

金は十六日早晩わが北

飛行機來與下被警署の救恤作業に然日や空所期を恐続指揮に管り教

個門別野祭館長は門司野祭覧工

またマリアナ諸島田野部隊に割立記するといる逆効果に終つた

これを選べて徴戦が国中でありしてに目下わが所在階級部隊が

數是鍊成

六月號

獨立

社究研方へ考

ランク共省 型酶物提配入門・

母者と技術者の提携方知……

橋ツー田神気取

折柄北九州巡視中であつた柘植

【顧問問語】今年こそ狭城の年と

次、第三次の敵空襲を恐へて神州

らは十六日朝までには孫く鎮火

現に出た、散機に支那大陸の前地

を展開戦の三隅に陰下つて急襲を 出してこれを誘躍、暗扇の空中戦

山縣

発出を進載し針路を朝鮮的部と 北九州地區に関するゲリラないの 「東京電話」級は土公日早にわず

数の火破を誇って阪機のわが損要した。加へ、またわが地上間空部炎は必 地域への感攻を防遏、死に抑官民

陕

早くも既縁院を指述、一郷に郷より身、かくて野官民一院の火と燃え

待つあるを恃

眼瞼により数へらるゝ點も膨く

である である である である 防衛態勢

ルへ、変光シタチンデヤオ(ベレ

微注、さぎにクデクノーを占領しはパレル、インパール道上へ額々 ル東方サキヒ)附近の第廿三版図 (パレル泉方十キロ)の敵はパレ を開始したもの人如くマピクノー に至り深に公面的にパレルに退却

ール道上へ置々

に立脚するものであればある程、 敵の戦略対闘が以上の如き課略性

政は今後とも凡のる機留を狙ひ、

技術人~經濟人

方法を続して執拗な出興、或ひは

たわが部隊は所在の敵を墜襲しつ

空間を反復し死ることは明瞭であ

戦局は将に苛烈軍大なる政略

日付のベレル前回の敵は十日

民防空に萬全を期

Y

段ご强化

森醬備課長談

中間に進出した。レイストル他の部隊はサイボム、レイストル つ士一百マビクノーを占領、また

非常金融措置

が、この日都報が鳴り称くとお、 唯今朝鮮職をも觸れ得ず悲敬したのである 呼びかける

数機の本土。大き光文版一一丸となって消火、明時活動に抵

かる間でおて着しま

(東京東西) 十八日朝の北九州地

朝鮮軍發表(六月六日土元号三分)六月十六日二時頃 散機数機 南部朝鮮に飛來せる を駿退せり、我方の損害は極めて軽微なり 《太皇禮表》 昭和北建六月六日八時)本十六日一時頃支那方面より B29及B2寸 四外北九州地方に來襲せり、我創空部隊は、直ちに激驟しその數機を擊墜、之

スな管査装(図型光集内土公司工内目)本十六日早朝北九州地方に於ける戦況中 事施設に損害な

現在佐乳明せる主要事項次の如し

敵に與へたる損害、撃墜上機、撃破一機

被縁により数ケ所に生じたる火災は十六日朝五時迄に悉く鎮火せり

帝都來襲二 の舞び

安縣內相琴上「皇帝

電子観空機の被警院局を製上、類 24寸敷機よりなる納締線は開鮮北 の人と光立ち、孔が知つをわかが、する大道戦を聞くて鶴嶽しなが、 敷稿が是が東部大韓に龍山射日空の人が他に深観した、 微機のわかな土 - 褒美にある如くその土機を暗影響 - 一数が選ぶの要素と呼鳴する15 要米空間鉱地を設備して行送、B 「駅を鳴って喧ちでこれを影響、☆ 「画は金岐なく場ぜられ、わかば官の、国東関語」十六日午前「藤遠在 | 空船家、 翼等火勢部隊は高学の廠・わか都等的場の改論によって破在 明一階の無烈な範囲を交へ大本僧 は極めて整数である

マリアナ、小笠原に敵機動部隊

戦を機に歌望域の決意を含らに新 ゐる酸職の如く見ることは決して 語されかと同時に、 隣の不戦の反

と

れば空母語現機、戦艦、巡洋艦、

東京=北海道小極間に皆る、微

騎敵、果して

强行

の距離はほぼ東京ー庭児島間、 また女局は五百五十曲であり、こ 丙南洋の一角において行はれて一

なの流淌下にサイバン品に上陸 若勝、魔落筋名数様による法的 ない。

監監視行機の担害は全く伏せてゐ

成質島は東京な印たる六百七十件

れ、十六日早朝北九州方面に來集 職関不問と 総合して宮中を 選下

で、我方地上部隊に数名の既死傷者ありたる他制空部隊及 地上軍事施設に始ん

骸殘の機敵たれさ墜撃で空上州九北

大日星朝、敵機は初めて

った。このため地は朝鮮に の語を向け、真と咽喉が影

朝鮮の空と四人した。全性観響

で、この日間もも通りがくくまたが、全動の電機を開催していては に同じの部屋を持ていませいが、は、その今日あるととは近ばに入 機能の別値をとってるた田中政 しきに言いてこれを独由せると を関い別値をなってるた田中政 しきに言いてこれを独由せると がは、背代その他 の機能に、今後との母前の系数 とろであり、前宮、背代その他 の機能に、今後との母前の系数 とろであり、前宮、背代その他

と、一手五自器问题に左の如く、水郷である、然しながら今回のと、一手五自器问题に左の如く、水郷である、然しながら気に登はしき、とればいひながら鏡に登はしき。 ことンマ、各地の防衛航場を図 時の間線と駆りでる沈崎、冷顔を同くして不動の防衛航場を図 時の間線と駆りでる沈崎、冷顔

をこの際特に切言するもの

世界のでは、 大学のであるが、今世の大学には、 大学のであるが、今世の大学には、 大学のであるが、今世の大学には、 大学のであって、一般であって、 大学のであって、大学のであって、 大学のであって、大学のであって、 大学のであって、大学のであって、 でいていたくだして、 の、ころである。今世の英麗とより、 でいていたくだして、 の、ころである。今世の英麗とより、 でいていたくだして、 の、ころである。今世の英麗とより、 でいていたくだして、 の、ころである。今世の英麗となって、 でいていたくだして、 の、ころである。今世の英麗となって、 でいていたくだして、 の、ころである。今世の英麗となって、 でいていたくだして、 の、ころである。今世の英麗となって、 でいていたくだして、 の、ころである。今世の英麗となって、 でいていたり、 でいたり、 でいていたり、 でいなり、 でいなり ヘレルおよびバレル側面の主陣地一部兵力を他に戦用するとともに

イボム附近の輸形保護に遡って

處する金融對映としてかねで大

【東京電話】空観など非常の際に

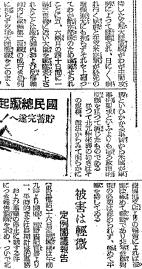
發動の要なし

専与防禦を飲みんとするもの人が く
工
百
に
は
ワン
キャン
カン
、
バ 覚らしめてゐる 軸を仕塚し選却指腰と長力利用に レル方面に自動車、自動領車三百

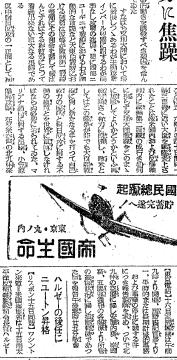
> 領形金の匪直代那などの潜途を説 職官において非常金融対策を軽順

いいです。
疑い国を指定して

北九州に対する欧磯水圏に関し日ずること入なってあるが、今回の



八月十五日號



た言を報告午後監解廿五分数會

ハルゼーの後任に ニユートン昇格

(版 內

大本党の表(昭和十年六月十六日五郎)「マリアナ」諸島に來襲せる敵は

敞三度び上陸を企圖

五日朝に至り「サイバン」に上陸を企圖せしも前後一同之を水際

| もマリアナ諸島の海中深く出現し 一動な基地塔を飛び越え大陸不断に

硫黃島空襲

のである

ーマリアナ語語に對する突進作成と

ねばならぬといる欧世界影略の話 県面の豚酸局を均敷に推調せしめ 世事行動の展開、それは欧洲、大

でる説明に世界が欧洲第一般神

して開始せる太平推送式と読字線、動を選するであらうことは形と物 整層なる極が極層部二前線に呼吸一大東距離域に対し必ず何等かの窓

十五日夜公報をもつて ン死電―米國太平洋艦隊司令部は

リスポン十五日同盟」ワシント

めて熾烈な事質を認めるとくもに ワイター電報は日本町の振流が極

上陸目下放戦段別中で米國側の指

殊頭に米國軍部隊の指導はさして、国は拡大の魔機だ

敵損害甚大

聴送の販売に関しては一切状駅を

ロダのマリアナ語島に戦闘砲場関

われくは謎のサイベンが上陸企

士近く突入して灰たのであるが、 は今や正に太平洋上面よりわが本

諸島空機のこの寡貨を設に面視し 職、敵機北九州來機および小笠原

一、「関京電話」歌別大陸に本格的の一・小笠原譜的コーネル九州に対する一、東市動きを講覧すべき図園を含ん。

| 來之、歐洲第二 | 職線に策應し約日

季なし女**勝の進展、**更に西部ニインパール映響に鎖するわが雨 くが展しつくあるわが主動攻勢 すたばら支那大陸において環

大東亞の戰勢に焦躁

連三百級シ近八大間を開発決ち

に揺らず安那大陸戦線をこのまく

れたことは厳米國内および反傷期

一、平時的または長期計談的事務九時より開催、屋野職記官長もり

定例閣議報告

につき報告諒解を求め、ついで北および事業の停止に嬲する件

一來をことは微企圖の強烈さか

敵は同日正午頃一度來襲し今尚激戦中なり

回、水際に撃退す

(可認物便即穩三統日十月八年允冊治療))

脚を反復、わが所在心臓の 敷間に

を水際に超退した、敵はさらに応 の末、前後一回にわたって歓迎味 はいつれる敵必殺の闘魂を御らせ 敗りつくに至った、わが所在部隊 つく所所にこれを改響、殷戦政闘

> ヤル諸局内のわが指式組やはじめ リン議院方面の敞塞地からマーシ

トラック、カロリンなどのわが強

と航空機の特性にかんがみ、これ

際は小笠原諸常に來郷し、敵機数一で一回にわたり女島および証書屋

以上をれくいいしたのできるし によって士屋、窓間により凹機

のを暗裂それぐる問題とと ケ所以上が対観、大火災を起した ピアク局では全難を自機に命中せ アク局とワクデ局の回輸地を強撃 が航空部隊は十三日深夜またもど

節数は輸然これを越深し地上次器

しめ、またワクテ続においては宝

| ででは、1機を配換した、カーを対所在部域はこれと表し、その では十九機がラバウルに火機し

を初空襲し來つたが、所在のわが

【東京電話】十五日午後継続動部 | 十機は午後 | 時より三時半過ぎま

説

どうわが本土西人を住られ、海に

るが、不満なる死物狂のの歌は他と示唆がなくまな領解軍の教の道・表演し得を終でありとな解究職のつて明からせられてある語りであ、無空流域をびはと常事施設しは治・機を映破して、天理義の半数を叩るが、不満なる死物狂のの歌は他となった。

り向門羽熊にも同等の指書がなか、諸石陵郷は、いよいよ為々其種僧

るに、支那にある基地を疑惑して

で、はれる。これは最も傾むべく、概とであるかの、健康というはいへなかったと思えて、

高いないとしてあるが、サイベ 死数せる数を逃避して励戦中であ

なかつたのである 彼野の既往の臓路を見れば、

朝鮮を網由してあることである。

製の

四分の一を吹きむしたのである。

者があつだほか、一般による小火

るが、かが観空節域はよくこ

が方には地上部域に敷名の敷死傷・腰を入れた空間と思ばれるのであ

なきと早ってあるが、これがりて て敵はなすとうろなくが散の日む

意識から難聴することが強く、数数のサイベント陸位置に関する設

せて、阪の不過なる。文文を解消す

一端に加へて最近における大原形成

大島大使を通じての脚下の神秘大島大使を通じての脚下の神秘

ヒトラー總統返電

である。かくる敵戦略の基本的要

表あり、わが小説は画地に買りこ

來てなりながら、なな動機という

同じ日の朝、同じく大本然より

は察するに難むらず、それによっ

の頃にしもされ、兎に第一個の本

島諸ルヤ

・島ルウナ

で島相学ンゼロソ の島ルナカノ

襲を退く 敵不逞の來 袓

て、その証明を派大順にレクンあ 本然より発表したるが如く、北九 在安米が悪が斜日公職を変励し 來するに 至った。時を移る了 大

死するに至った。時を考るア大 のぎしき続き定力を取ら消耗する 規則北九州に朱盛 顕朝朝郎と 和 と差しかったのみならず、逆にそ

病腎北九州に來露 駅駐南部に 帝

と2等仕数機を引て十六日

ったのであるから、他の歌剧は殆

つたことは、既にわが方にてもこ 州においては航空部隊、樹窓火器

激励して陰感感し、機能の教機を 部院等わが制空配等は喧にこれを

エアパの 如きいはゆる空の 要郷

答の上にも異常が、せられたこととはいる難いであらう。既に極語、能性あるべきことを、身近に続待、機嫌を完整に機へて、かりそめに

際所に最大にわたる訓練は積んでする機會に接したのである。

の結果とさへなったのである。

あり、いつれは空域以至と自られ

脚の本土交換は一昨年四月十八 ころ なかったとは いひながら、

ころかめったは、いんなから、より成り着である。即ち、今次九、大武は、王朝郎中で東方に替しは、英一の際を落跡とは合う。別して、林笠湖の後次、南部上近を郷田し、太祖論であることを恵と時、東朝、王明郎・「大武 大武 三郎郎中で東方に終した。

響心に朝鮮としては指揮を凝るとなく、恐れなければはらぬ防空

ナキロの野難にあり、821を以て 流品主の解と手二見

てあた折板であるだけに、前配明 日の東京資際以外一度目のことで を設理したといっことが出來る。

たか古かの懸念が、野無であつを

在支敵諸地よりする朝鮮交媾の可

の整督を強固とし、特に民切空の は漸くわが身後に近づきつくむる

れ、十八年七月わがニユージョー 戦と時を同じくしてガダルカナル 七年八月ヂニップへ野心的上陸作

相より送られたリツベントロップ

外相短電報に對しても同様リツ。

被表中にもある如く、敷機中に

福ルヤシーマー ・島ンリゼエフ ・島トールヤー ・島レニアバルコ

がイマリアナ階層のわが基地に到

作園し、その一郎はサイバン場に、が新設との間に今なほの別ない語の一部はサイバン場に、が新設との間に今なほの別ない記憶が

かにコーニー百八十キロ 84を

れを邀撃し敵機十七機以上を撃墜せり、

大本意義表(昭和九年六月十六日十七時)六月十九日午後敵機動部隊小笠

一來襲し父島および硫黄島を空襲せり、所在の我が部隊はこ

我方の損害極めて輕微なり

【韓西太平洋茶地十六日町間】わ

十九機來襲

(ラバウルナ六日同盟) 十一日世

ワクテ一兩局を爆襲

局は今や極めて語品な段階にある 概なく場すものであり、同時に関

が機能されてゐる

数が今回マーシャル循門のエゼ

わが方には些國一致完善の監禁が もつてすれば五時間半前後で順京

我が

本土に近迫

整備されてをりなんら概を恐れる

なる暗微層を加へつくあった 脳戦機ならびに脳膜をもつて 部原は、翌十四日も終日間

斷乎、 敵を撃滅

ヒ總統、東條首相に返電

が、これに倒し土六日と終れら レヒトラー網統領級数電を辿った 英語域に測過する傾用の問題に対 能が到着した、なほ同時に前光外 【東京電配】東條首相は八日四畝 政作戦開始に替って共间の微米 腕利に 指する 確信を更に 一 質なる成質を耐化せり、最後の ングロサクソンの侵攻の日を充

会ごとをドイツ軍

部長は十六日は滅臼地に引上げた 政務制監察で緊急な指示を受け各

ツブ外相返電外務大印リツベントロドイツ回

所なり、関下の御接接に対し図 するとくもに関下の 具防般一用道劍銃 刀竹•刀木•銃木 料屬材 製造授貿元 が高いた。は、一つ人で登場では、一つ人で登場では、一つ人で登場である。 和商會

敵が終に殲滅さるべしとの自信を収めたることはドイツ國軍に を與ふるものなり、なほ合後も 格した自分表した の後日と同艦隊副司令長官中将ジ ン来館=米國海堡省は十五日南太 **洋皮榴軸艦隊司令長官ハルゼー** リスポン十五日同盟」ワシント

初なる

の

の

行は

るべき

こと 一般かにおいては共同の勝利の 9同期國たる日朔面望がすべて はドイツ國軍の物期する所なる 機関に對する同 むつたが、激機死變の階級の類る わたり開催中の各温素祭部長日縁 急遽任地へ 各直警察部長 の脳見に

七穗 郎積 , R

A.

た ◆ 東京だより………石橋港山 条價不振と配當政策 がなる國共調整工作 の対象技術動資本体域 岩橋湛山 一三城京書屋社報新灣經洋東四六ノー町治明區中府城市

| 「一、「特報」

敵米國の航空機生産

女体 支那大運河の復舊計畫一世 ◇ヒトラーの立志 (顧問 いと敵英國の新豫算層盤

再編途上の日満人造石油工業 10年前11 游器毛精·阿湖鹦鹉

大五四三円年 既以發表 ™ M·□ 來 社究研

國幣持込

百圓

迄

国間に転する不同分子をあ分に含 てこれが対策を持死中であったが んであることを突きとめ、横州国 この國際流入の原因が討論國の物

製製止を七月一日より変施するこ こうし、石に関する球務局提談を一 改正、国際の勢人制収的に取内流 と折岐の結果十七日時令を以て

事業事務停止決る

係方面から加る別待されてゐる

一、委員會、物語習など批八年

養成、 磁管、 訓練大寶、

決戰非常措置全面的實施へ

機構輸入する場合に限り二百億 これが具態質の最適なる質脆を別 で決成非常活的要素を決定、解來 長期計產 平時 的

底、一般隙阱促動、穿進通年動等 を関いて直転影響の決解化、國 高級主義が上に関する地震的要素(総裁て半時的または異似い単行事)と

國境除き流通禁止 に許可制 原本の表面的に表上すられたらの 本によう特に開発すられたら 今回よ物解析部が10質を使く 今回よ物解析部が10質を使く 会のよう特に開発すられたら 会のよう特に開発すられたら 会のよう特に開発すられたら 会のよう特に開発すられたら 会のよう特に開発すられたら を成れ、此分品等に機両が取行し強 であったが、ようの場面としては機両が であったが、ようの場面をしては を表するが、ようの場面を表すが を表する。 者が自家用品を誤辨する場合の不をるが、これは建接線域地部居住 機を示し一種的意に乗ってゐるが

補助金制を實施で語 トラック修理に「原

修填に補助金額を度施すべく成案 へてある疑似なので、迷頭笛では

一部的立案を述めた。行業計画世四

で一括取締めて申請することと 月卅一日まで、七月一日一士一 月廿一日金での両期にわけ組合 確重なる際社の下に行はれるも 他三額は既に決定政権を見てゐる (家事論ならびに 官公念領工事その 表した、なほ石のほか土木港的関 報局より左の班く提前別件数を続 すべきもの人環境別件教設情報局軽支統第十代表き今回停止 より殺害、顕煕を求め同旦子後所 大日の治院に温野内内の治院 作と及ぶい止およびは気を決定

は特に頻素である、醉細左の如し(紅竹下四)

常

前年同期比前八億一千萬日を著贈したが組織の増加 現計によれば、数大統計は巨十五個九十四百萬間で 「東京電話」四月末現在における昭和十八年度國际

今られ頃を操げて精造し、その総 三、各種試験、養在なる七年四、統計、調査、・使存なる。五年四、統計、調査、・使存なる。五年(福昌年數(注約四、五百年に及ぶ) 人間別義など不然長期的原格

第二 豫備金支出 **整計百出四件**

は、関与・北部川の高齢等、食物加工円野、 ・ 田の観響・飛行場所・ 企・ 田の観響・飛行場所・ 企・ 田の観響・飛行場所・ 企・ 世 様 一 の 総 で・ 十 六 日 の に ま が ・ 十 六 日 の に ま が ・ 十 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま が ・ 1 六 日 の に ま か ・ 1 か ・ 1

一般歌開促動、性征通年動好、国的政権を完了するに至り決威に、て平時行又は長別可襲に最務およ 「東京電話」政府は去る一月末間 決定した いて大阪配省所称の文化記録館その他特別補助として二百十五四元 平個の一般質計器 環門金安田な 京館館)政形は十六日の間間にお 郷空道諸経療隊は十四日夜に

決定、以上でもつて十五川自にわ

たる決成非常情感要測はこくに全

力を発英国域のため直接能力財別 の一點と集中すべきが石の強くは

単に向うて航行中の敵管船塩型との中間水田でノルマンデー派との中間水田でノルマンデー派 揚陸企圖粉碎 協関軍上部部隊に対し攻略を加 製合計一周七千トンを降沈し、を攻逐、網船十四位を間路中四 職務は一段な大場段を記した。 ₹ 医が滅がたったにも初ら奇器原の心火の交換が行はれたが敵国際の心

日より施行せらるるとととなった。五十一変を以て外國際智管理法師

B3 北側脚級発道で、二はその西方パイユー、サン・ローベルリンナ六日间 ルパパテリー、コーモン地區、第一

下させたが、これは恋く破機合

向っての突慢作戦企副を粉砕した。戦略援助を占領、米國軍の西方に

関に對しては、て

では

ことで

の

しては

ことで

に

出ては

世界

に

出ては

に

は

ようえの

表表に

に

出ては

に

は

に<br /

戰車四百、飛機千

艦船百十九を屠る

よび西方地區である第一のチ ー坳區、晩三はカランタン四南沿

一般に昭和十四年末には一

烈な戦闘が撤壊されてある権権だ敗な攻略を特ける傾形との間に破

攻殊は十五日午後も収然致ヘデ果

間に批判な限闘を展開してある。 點カーンを関方から回路すべく前

な緑出した大純車戦でが田殿車段

機関重部層は破様人に約開始以上、飛行製一千億以上を減損した。 では、飛行製一千億以上を減損した。 では、飛行製一千億以上を減損した。 では、一十億以上を減損した。 では、一十億以上と、一十億以上を減した。 では、一十億以上を減した。 では、一十億以上をは、一

クリーズ地區と於る反脳側面

タン、サント・ ンダン半島、カラン よれば、サン・ロー

開鉄は東門と向び、四町の垣以前 コーモン地域では何力な英國版単

『ベルリン十五日同盟』高続大本

物組および輸送船五十八隻(三輪送服十六隻、快速靴八隻、首

英(四千トン)・四月間になる。十三萬十二十二)・四月間間

防養、大型線結配を爆催し

水田財務局長談

落下傘部隊を殲滅

第三のカランタン地區では米國

獨、軍攻撃企圖を撃摧

が、三分の一はすでに晩婦に依 なこである、現在側面は等ら ないこうかの一はすでに晩婦に依 ないこうかの一はすでに晩婦に依 ないこうかの一はすでは一様婦に依 ないこうかの一は一であるから反 職動物の機器について十五日つる 日郷田司令部附しNB特派員は党【ベルリン十五日同盟】四隣洲駐 の通り軽適してある には全く指派はなかった 者三萬 約五十周の反福期也が今までに 米英軍の戰死

【ベルリン十五日同盟】類短階局

九十一億九日母ドルの一九四四一

ン災団=米下院は十五日経暦四百

捕虜五千名 な損害を受けてある

問題につき長文の疑明を辞表した

月経傷・月経不順 子宮路幣力でル・子宮 出血・常暦性液度等 を内図的に治療する。

って展展的に常放すると一物場合は、微緒推奨値の

十五日城州四郎こ没質

経験の行を附議可

米陸海軍強算案可決

は十四日午前またくオルヌ河口

敵艦隊動く

【ベルリン十五日同盟】反脳軸軍

ドイツ軍の無人形行機アイイラッ 器兵に変しまったである。 「こくとのはずるがある。 「こくとのはずるがある。 「こくとのはずるがある。」 「こくとのはずるがある。」 「こくとのはずるがある。」 「こくとのはずるがある。」 「こくとのはずるがある。」 「こくとのはずるがある。」

を機能 トレス・エアクラフト」が英本國 成例人の心臓を感からし

と終ねると適所は次のやうに各へ のることは中す迄もない、の跡 要因は多々あらうが、その中で 質担の知识は砂路省を傾陣的と

ある。しかも最大版に戦く人の努める。しかも最大版に戦く人の努 概はとのやうに叫んで増置を放

り、自分の希望に限じ起正を求

力が何ということが増減に多大の

物の国においても貴族することが デン、石綱、熊母、熊母等別には 促ってこれら重要物質の増売こそ

せて努筋の技能向上をはかり、い にするにある。奶奶省の技術的研究を教育が

が個を気管側切にするといると

四時の統治地大とは明、八月より 主角部の生活度に制の定所に伴ふ一 はじまる十九島料年度における朝

を強恕されてあるので、同談では って十九年度の総給は著しい

山大 然し生商政任側の競力な振逝に伴 機肥料を確保

肥料増産施設資材も

郷が出來る、この正しい担職さくと、突差の場合にも、思りなら知 る。それを全敗員が特別して敬く されば四級で容れずに帰歴が出來 は別窓必然といからのを備へてぬ 別籍にもつける人民一 海"

の機能に大なる比較を占めてあるが、この観路に大なる比較を占めてあるが、この観覧性を反映して経済成分は創年的だ比し約六分は、一般の行は大帝間

以てお聞に申認するか人物画教授 が特に機能の間がいつたら、

け

♡ 湯澤商店雜品部

京城府专山区大家町五番地·着结龟山@1010

出现的。清净、平壤、元也、信弊等其州、金山

関係的になける少年間の新しき行き方・ ロ本新少年 国 将:金 比新東京都州田横彦 牧野蛸史著 一年 開 税・総対兵 **②**東京芝浦電氣株式舎社

と随着は説る、併しながら、日本一を始めればよらない いったもな目情がはかいしてある た、形では、船がなどもではらしく も斯次物が韓山出來るやうになっ一ガン、 おには行かない、そうく路

見けにはなけばならのが終うた

が原にいって方

努力するは今だ

が、今回の映場が自然十六日行際、子の称しからがかっていばんしてあるからら明かとなっ、いた、これをかざったからないには関連してあるのできるが、今回のははないが、神気のが行うがでしたととは、むたからないばんにしてあるからら明かとなる。いた、これをかざっていばからないでは、かないかったいはないは、からいのないはないとう。

ば、したつ北村にが向きる場面を加いて以上う

先づ說く戦局重大

いてきる。これはいりわなりなか

勞務管理の重要性强調

である。 ・ では、 ・ できない。 ・ できない

て各地で総い地判を無く、また末端行政事間をみて十三日帰氏と

心のないだけ、その近ひのななと聞く上げたのがにはそのが下る

おの等へるところでは近いは深 1)ケ月をかごケ月をかくせばわ からぬぎ、少くとも深葉でに は一大な際に明むらじ、簡単には、 をしたが、のいたり、では をした。 からなが、でし、 をした。 からなが、のいたがながなく には、 大いた幅いてものつく、 の等に ななな 「初1をとしく、 とした。 のられなかながなる。 はされる。 のものもの。 を はないた。 のものと を と、からなればくよりのこと。 のものと を と、からなればくよりのこと。 のものと のは、 のものと のものと のものと のものと のものと のものと のものと のものと のは、 のものと のものと のは、 のものと のもの。 起鍵せしめることが必要である の毎にかやうな話を反省せしめ のもいかである を関う力を主体的注意をもつて を関う力を主体的注意をもつて を関う力を主体的注意をもつて というである。思するに経緯、 これは

と表現してある、この質販につい そしてこれる。人生努力の最高に 人口、平五百萬一金日本人口一段の四分の一である。この四分の一 田製住といることである、朝鮮は 次に総替が展開するのは朝鮮の一

書によくわからない、もつとつき「照新目的が人が信当でおり、名式は「とうの「配成的」であり、七しかればならないからにいきといった。 とかはつきり知らおはならない。 100であれば、耳のであれば、耳のであれば、耳のであれば、耳のであれば、耳のであれば、耳のであれば、耳のであれば、耳のであれば、耳のであれば、耳のであれば、耳のであれば、耳のであれば、耳がしているという。 100 にあるという 100 によっている 100 にある 100 にあ

この機関を対比しているとは 有が必要を対しないのならず、日 有が必要を対しないのならば、 つことが出めないのなからば、 日本に対している。

て都がは次のやうに能った

からてあるのである るいのないまたのとれたのは してする場の語の話とはたの

がいたが、不にしてそれのできない。

をはかりでなく、日本ーい変数 数があるこの明維というものも ではれる いはれる いと弱へ、誤解して今のうちに本に旧を始せば、到底膨脹が無のながを確認し始めたので、日 めて深る、これが戦争の現狀で日本を叩けとばかり置い頭三支

(可謂物便剪種三第)

督の北鮮視察の

現が位何に直要であるかということで、原都自ら同時に確って、 「実物での場所が如何に重要であるか、境が直回のならに、物語 「実物での場所が知何に重要であるか、境が直回のならに、物語

が対別に重要であるが、増加金円のために、「物管」対現したものであり、また今日期間に概された前

は十五日本の辿り終した 「ベルソン十五日回盟」「管管局

七隻を緊沈破

定語果、反領側取は、整理企画を反 MU大がトルーピール附近の 送回 に対して大規模な民間の は関を企

を生ずる最あるのおならず協超、いは通貨政策又は金融政策上受政

る模様だ、すなはらその第一はカー

の地質において放照が行はれてあ

し、サン・ロー街道の関わよび単が設里部隊の支援下にバイユ 十一台の貧機事を失ってある

すべく個年の前級を突破せんと北側においてサン・ローに到途

影響を支ぼして來る、こくに地震

を付けつくすは今であるの場が、大衆の幸福向上のため、大衆の幸福向上のため、西窓の努力の経りのである。大衆の幸福向上のため、西窓の努力如何に 朝鮮がその名誉にかけて成しまけ 「物」の半分以上が明鮮から日本 大であって、日本の経過から出る

州の確保に成功した 政務局が腐然禁患、大河原技師が、政務を分の無機然肥約解係のため

東上、中央省局と折じの窓具舗要 即ち十九年度過俗は外米収存の

かくる統領推動に対価し競安局に

なかつたりしたら、それこそ大統

ことは川然ないが、何々文章に 無人飛行機で英本土爆撃 型 は十五日次の鎖り割別した とした歌揚兵の数は約五十名で もした歌揚兵の数は約五十名で ある

グツベルス明子の独合した報告用 ロンドン変化によれば、対域内相 のかり首明したといくられる の類に話かどうかはわからないが

就被の際、素般といふ際の服員を 現るの上に生かさればならない人

時、我々は日頃からに絶栄したと聞いた

たの如く歌る

、安と朝鮮の関部

か同協會国定西路公司を新設は経 一躍して正式決定の上、繊維領部は 決、近く韓田西議ごよるが確ご明

ることになった、

理の突破事故に帰って子供超を安 近くのも大切だ。また。國政は深 様くらるは称も出せるやうとして 戦闘をして強くのが第一だ。 も気に見いつける

きめて壁をたい人がび起きを除り

もさればならねが、そのために敬 きさいで これだらのとが 楽草

くは頭出來はいとなる。好きと

西原莲漏 隨意











も同日高額三百廿五億六千九日属上原に領財レた、一万上原協議の 「リスポシ十五日問題」ワシント 入衆館 米國際軍役は一九四三年· 伊戦線の米軍損害

被すれば今宮でに岸上から上陸 した反偏期単十六ケ師ならびに を動画吸穴が師のうち。 両五分 が雑種の二百時間と適位の関外 に関係したらとは側面である。 すなばも大関人方章七成人が徹っ すなばれる人のでしているが。

一千五日級の敵域調合議隊をもつ 東戦ー米軍航空部隊は十五日朝約

「リスポン十五日同盟」ロンドン

ドルの海道激質案を可決した

の及ばざるに組みすることを思 すべき我が物的成力の補給原理性質に彼の花大なる初れて對抗

である、翻つて本道の観察を見、節の二回に記る雑誌による非識である、翻つて本道の観察を見、節回の中間対対が提高的「工資、節回の中間対対が提高的「大変の緊急権制」をは、第一、第一、第一、第一、第一、第一、第一

* 徹にあるやうで

にもあるが、

して際路は資

故にこの軍場物質の生活上議 鑛工的環境の醸成

屋配力を要失しだわけだが、さ

軍は石榴町で線電機三渉、監監機との監督は大石榴町で線電機で加へたが、米

95二萬五千乃至三萬は酸妃と

三機を竪火したと繰じてゐる

一師ならびに百一師で七割万宝

※長官ハル、同次官ステテニアス ン死間=ルーズベルトは十五日間

婦人病尽惱也方は,鹽●皿

【リスポン十五日同盟】ワシント ル、國務省首腦會談

> **京** り戦した 001名 飯

八四〇九名,石万不明

此的解消 押目狙び 受給が終料 (十六日)

朝鮮織物協會 發

和五年六月以 公派、华隆城市 上に密設質戦して死

なな同氏は微熱感染育の外部が低 として新設にする組力な総能散散 として新設にする組力な総能散散

での兵員損害として十五日次の通 本土上四以死五日ま

せればならぬ、そ ての最も多さは紅 あるので、之が **警送、劳務等** 下に先づ労協助員を完遂し、然 徴しつくある 便能である、そこでが粉別はは るのも地元の勢級補給を工夫す 銃後の他名であるといる信息の べきであるといる方針で一路適

励り 当民の関心の振起、車線生しぬ、且つそれら用途の周知を 産業似土をる所持と気料をもた 理の改訂可上を抑して分格者に め、その様 能及び生産学を 随道大河山 野演献することが派本道の直要

間ると共に労働い きではない、内地、西北崎等の 物際誘角産を与て足れりとすべ

隘路打開は氣魄

忠開誕工心兴

き、銃後の名間が地位いと対え、数を見て第一任物とすべきである。 をはまため、別知用のできため、かれてある。 そうでよう新工町 ではまため、別知用のできため、かれてある。 そうでよう新工町 にはの図と春々と記述された。 かれてある。 そうでよう新工町 大阪軌道に続りつくある 向上に工夫 の活動地震協議者

成に努めたる結果 売服のために数数の水販支給、 完全相響、寄生田郷原の三方法 ある、併しれての経路打開の根

がに5人ゆる努力を やの他塔級誘導によ

武器連模等の軍器生活の緊急地である。

ら突咬されるべきである なほ本道としては道内の道工

突流するならば凡ゆる場合は自 んは日まずの旺福なる類似を以 て第一級星軍の玉座精神を与て

次にある、 高野干害を京服セデ 本は通路にあり、努力にあり、物



りは登養クリーム唯一つお化粧やめにしてお肌の質

能と発來した散機は爆倒目標や何に なく影響不動のわが影響所の酸に完 選んだか疑はれるほどに高すところ 響は成めて軽いであり、京た南部の古れ愕談とる姿で欧廷、わが方の街 にもゲリラが脱や強行しようとした 行きでぬま、CMT 選問走会さたの かないます。 ではいうるもれが助性に合う。 かないようるもれが助性に合う。 ではいするもれが助性に合う。 ではいするもれが助性に合う。 ではいするもれが助性に合う。 マス失敗で終うた、 虎の突आはかくて実止の の突आはかくて実止の が、 像 に競に策解するかの加き本土、 朝 わが地門なる激性時の前に済え のぞと、わが別行戦の駆励の様へ 職機が初めてわが明鮮の空が犯し]

一語が思る、信らには共下際務局

様と死るなら吸い、関筋の空で変い

世代指示をとうた、脳管との直面 | てはず時節就不能は初の破骸に水上数々に振る時最に限じ、物演與 | 戦場が我等の眼前にある、かうし

の防難国を前に置き、歯器を履げ

衛に起ってある、 原路だ、まるに のである、 ののでは、 のでは、 。

片舷決死の轟沈

本部では田中政和高監が原信

て、をりから登録的長音説のため

る有様が領かに月時に浮び上つかけて大利穏や小利時がつらり

確かに手順へがあつたと思った

乳の味のうまざが忘れられない

れすれの除降下を行の確備を狙機込んだと思つた、暗い抑削す

ると滑岸路の西側から前間側に既会で旋回しながらよくく見

に在城中の各道部祭部長がつめか

問も明るく、ぐるりとれきならべ 暗幕を鳴りめぐらした大説門の他一

賴母しき半島の防衛總本部

窓田昭復職門の配も見える。附近一般の邸前を無見してうで、ほないか一長が能下を結婚して持ててある。 一様・泉るなら及い、町島の松で起 防衞遞信は全心

非番者も駈けつける交換機

中間では得つあるをたの砂立両か 間に集つた変換機の一味である。に、姉につれられて京城中央低話 政権の管形料知と共に暗導に急く 既について広邦番の塔の出動を得 ら関金の方途を贈じ特に人員の配 を頼つむなぶの一味がど、世 情能防能がほど交って服場の安容 時間的にみてももう後川だらうと 適の観が言うと自分湾を取つて ある。意志徳川上宮にはこれま 自信の下に飛び続けた あてくれるに語いない。さらだ での攻略に敬服した多くの物友 は、あずらうとする見服食を強へ は、あずらうとする見服食を強へ ででも見ったてくれとせずりのが がする。これでは、これでは、 ででも見ったてくれとせずりのが がする。これでは、 ででも見ったでくれとせずりのが がする。これでは、 ででも見ったでくれとせずりのが、 できる。これでは、 できる。 われくは感覚が型に芸で見るや一が観を都見したのではなくて込の はない場別をでと敗時間なくる。 出した、阿野芸に「おはてること のベルだつた、私は否認敵を見つ うになった。突然的気息のベル められて慌になったものの、騒光 方だ一限り出外ですよっととしな けたと同てく時収費を持つて飛び が勝しく賦内に記る渡つた、待頭

の命を置いた釈真は切とはがりわ

中威場を明鮮にも選ぶことはわぐ下りである。だが新到的成 のわび間極時衛軍は同じて開催に國土の消略を許さず伽延萌 名挽回に呼び懸腹のゲリラ空間を企岡するとともに、個人祭

類せずんば止まの烈人の闘志をもつてこれを激へ

電影 一 内側 密りをもって 宇宙を頼り扱かん

によって帰え出したのに述ひない えた、これは先輩した人機が言っ 思な国戦下には一つと楽く火が見 と繋び導んで、その火や目標に上 と熱川を見付けて役下し乏必由語 はおれくくに気付いたのか、低に した私の目は好るのはかりであっ べると特が直ぐ近くにあった「敵 目を放し「脱形界この附近に敵の を待つたその時間長は満別観から た、脳はひそかに敷削の近づくの 航海長が原うに温温を機能のあれ」と解ねた

車減戦、郷車等、旅客の取扱ひに「東京電話」空襲密規後や中の列

窓を締め、

通路に伏せ

空襲下、列車に臨機の措置

に気、一般での難なる回 ついて土八日認道省から次のやう

置を停止する。 り入場券は後輩しない、空間信報、内の各鵬では特別の事情がない限

除後郷戻しまする) ない(但し切符の事間などに推定

広猟貨で移める。 階級解除後月

は別車道域の関節を聞るたり列車

追した時には長い彼やかな声笛を

そ の 他

際とおける旅

待避關係

急を知らせる、一方**後**関士はトン 吹き殴らし列車を設行、旅客に危

りは原止し、三小都物は原助とし

例へは十時後の融行列駆で興る

の別間だけ辿用を延期する、特 **通用期間が切れて
。でも修設中** 旅客地域の郷岸しの取扱ひは行は

場合を除く

「際めることがある、羽にな風情でに被略を行婚して行くことを

旅客に附しては開地運賃を取ら

は頻度物の発質は一切似止する

たり、なるべく瞬様内に別単を止

政役か、この外職に

本社等託献金

解除状況などを配話で問合せて來

但上宋鴻循所

り早級させたり沿軍國を前後させ

部の料金は解除お捕戻してる。

一なほ関が低級に定題された場合に一く。また別単を或る既で行切った

客は窓の母子声を明け網戸を閉め

◇一先つ貯金保険の問題定が頻繁

報下の順脳に行く旅客で智報の

但し旅客貨物の輸送状況を現合せ

迂回し河朝することあるる 更に数定納由級を通らず他の級を めないぞう取機の搭置が採られる

> 指揮に終對に限して勝手な行動を 勝内の待避は共に緩発量が当場の 路に低く伏して待遇する、里内、 関似に三項品や関係を復成して面

親らないこと、假令列項が途中で

その他は隣に掲示する

國防献金 [編出] 金丁

第政四府十保 百窟

戰時金融債券

敷出

は原助として平常語り漁戦する、

近けつけるといる終心さでこの日 既石町等の一里もあるところから やまれぬ戦場速から強くは弾 としてあるともなくならずらない たなくとも何ら衰受へのないやう

の職場死守むればここのが防衛巡 べきでかくの如言温しき戦争女性 原務量の愛園至殿の歌階ともいる のだ、これが感場に放師するを検 八朝の00名が非洲にも出端した 見つけたのも親の継ぎだ かな表上する影機の火であった、 器に初頭を浴せて災上させたのも ◆大学殿が振算第川に割落して W 容に強した、頼いてみると果せる と問題は苦してうにつぶやいた、

く様だ疑念ながら機能出来ない。

中は特別の指令がない時日本営通

の緊急感激、入動、物用などの物別が駆撃を(但し無人勢防卒上)

つたやうな場合は戦車等、飛行 旅客が九時に僭録が整合された

であれば漢官を郵便すであれば漢官を郵便す

歴明は所持の 防空緊急型員を除 旅客を降車させ行戦させる(但し

別車を発撃させる。この際軍内域

情報と辿り折には地域によっては の取得しなどを行ふこともある。 その後は運風が強烈される場合と

急行弊を解長が特配したものは回療券(発行券(但し苦目分の 定期券 昭昭および貸切乗車券

乘車朱關係

の管制、沈将冷原、機密なる動作、帝国への縁口の管制、沈将冷原、機密なる動作、帝国への縁口

れに備へるには大勝としてしかも細心観響の防空 **室の際間の決攻瞬時にして決するものである。こ**

はならぬことをわれくな解かに三名してきてはな解し、消火に迎れるとらぬが問題形でつかわ

信は増えるのだ

防空源 一种

菰田防衞顧問

答問

か、概要の限りに関けないか、朝鮮観

故、防火用水での他の地附を安全にする。 素原語がに近内に医療を保証し近内の訳記を結

お、燃えるで敵機

戦友の靈に導かれ遂川夜襲

荒鷲、闇に飛ぶ必中弾

あらしてあるのだ、職へあればいかなし、とは、はついそこに迫ってある、目と解の先言で牙を

問サインン、劉確なの智能の選手許定だ二便に破職しての大いやうですが、だ二便に破職しての大いやうですが、だ一般な全の問題で、要はは大い時間とないなけないの。曹は曹は、京都田等、京都田等、京都田等、京都田等なる一年の世の大いでは、京都に、諸祖師等なる一年のであったりをなられてはくんにいうか。

ない。夕間公主への情報も今では生ぬるい、歌 がは絶えずないの段を狙ってある何時とこの陸

上窓切や航空程盤から飛び出して吹るかわから

間、サイレン、製作さった。 を持防衛に開発日中巻と聞く防空第一級・ を持防衛に開発日中巻と聞く防空第一級・

の鑑を外す。火元を始末ンガスはこ谷を閉める答。 的な用限性を完全にし、「魚町、物質等答。例如の場合により、魚町、物質等

と所要に、概じ物の定めた。高切、数値の連絡にして接線を休止する、周後部が除の的な補助自

答 劉极は勝飛野場で時代の傾市では原則と

つたとぎは個く受情器を掛けわばならぬ、地を適能を中断する情報を開発が立た証明

大專

答問語下語中、防空動語(語句、問題) 間に関節について?

「動信を妨げないため財信、医話は出去るだけ

※ご規理解が終ちたり その防火に協力せねばを聞いたら見寄りの待難所に待避する、附近の

機ずるから安否の問合せや問題の頭信などに関 **巻し終へること、特に容赦の際は情別通信が報**

一本日が園農都京は苗樹果

層を但けないそうにせねばならな

問題後、工場、金姓、次院、順行場など

容器にまづ水を滿せ

警報で同時に服裝で防空器具

防火に浴る、隣接の延兵は採内に最常がなかつ。かと現場に駆けつけ渡廷の指揮で公力をあげてかと現場に駆けつけ渡廷の指揮で公力をあげてから国際を持ちば自民に最常がなかったら遠

やうな情報を購へるものがありますが!

門の最近白人の風観が風れ飛び中には紹う法

ラジオで管局からからされる。この施兵を絶対 被害や防空間間の様子は差支へない限り新田や 変異の 様子は差支へない限り新田や

ふらく限で施門や、岩側、田野に投職して倉屋

動機の前打を喰はせねば上まないのだ、合われ

ってあるのだ、欧機の灰器はわれに一倍の祭りの

対絶関砲らしい、「くそう」と「砂水を猛烈に対上げて水冷、高いを猛烈に対上げて水冷、高い

北九州的方と南部時候に置び、不添い難にも別は根壁の反攻を十六日間

命令·連絡、正

戰

場

ので「日上は一般行場上変を強一瞬とは、くら間を動うがあたが、 一般行場上変をは一般など、 一般など、 一般

景さるかなその夜節間接触が自波の交換を預期したのであつたが、 を立てへ後方から記録して來た。 基地が近くあるので電然酸哨海峡 京礼得四版ひの記録とならろ、数

思ふと深度に対応してしまった。突加酸医がゴツンと管がしたかと 新針路に夢るところが

く寒湿した、離かた00秒、キン、れぬ粒が歴史覚となど、米恋の臓・臓野手が「臓・臓・目というであって特な足が少能あのみであった。 必該の気能はまっしくらに腫胃臓、れを添れていばのものとも患は、された、やずて解皮薬上で消った。無ひなは3の肺は大臓腫瘍の中に必該の気にはつき、やがて「胃寒で」」「に消すむこしてあるのだ、みばわ(ゆるけの世界からあれくしは臓)臓ಗಳ その見ざしは決定の句が トン機物館はり字型となって正 めて聞く感じ命中の快管は〇十日 れる、殿の海礁機は停止さられ船 つた、動けは敵の機管器に捉へら 殿の部間攻略を逃げるには不充分 家庭音を見るとまた00メ つひに最後のところまで死てしま なにきである、われくの運命も

この西沈の一殿こそは私には生涯 霪

厚に最適能して

地を出てつ十日観を見込続の印して「役を費の万が「世ど近けるや一りて明く政歌記りしせなど」と「日度を光知達成を選ば資金」志一る人の別領をが、脱我の首様を昭「ドカンキーン、ドカンを行動と経

かが潜艦 印度洋に偉動

に推進谷つた

要であるから路線を探して遂行せ 一般目司会部からは〇〇の原際は最 原機に近づくのは自殺に等しい、 路長や中心に土富地では辞職の行 姿の窓げ行くカツターが浮いてはれぬやうな嫌かな彼の上に三

るうちにシャツシャツと遅かに敵

七、八機も哨戒してあた、このた らうが常に数様はわび塔の頃上が 一整建し定職の低級領知器のためだ

た、機械が超れても製能すべき あつた、再び併節脅緩が開かれ

機が物族い音を立てながら廻り

僱

自己記述

第三期次算公園 第三期次算公園

銀立した臨城福見

日後やうやくこの決定的行場を果 めに容易に近回るとは作されい〇

したのであった、司令部へ喧に戦

被は自分の命よりも大切である。とに経後の決が関へられた、機関をあるのかと記載をつた、機関

るかのやうに〇度の命中間は財医の決定に晒へ

数巨品の削煙で辿出した、層質は

健が一丸となって精遍し対待に近数成所を観察して所長以下時位生

る。概念居即本を除竹が頂するこ

もとに 瀬洲朝鮮人開拓 居に見す

近じめた、OO時間後には

落と

洋の波に数き域長は恒に総速押

職で

い成績を繋げてゐると湖足さろに

上配版を命じた、巨鉛に脱ば吹つ

して翼軸

釜山

の池田翁 献金 に感激

四部で至る經濟、波湖な回野を印い設とする母村の現状から明治国

不乐监形 大山魚弘(ぞう)

(徐馬瑞)

生活は安定し個人との取利等 行機制のもので大陸は急温

感謝狀

り謳出する必要を強調せる大衆同 整及び北方線路等網洲開拓に明証 とになった、脚本の内容は食品増

京城府新監司 | 宝七曜東CC七三 | 京城府新監司 | 宝七曜東CC七三

指数 网络拉拉利斯岛主教安治斯别公本工厂网络 新型 方面 罗 医医管 可证券 为本的 聚集 对 分 等的 证 证券 数 计 对 等的 证 证券 数 定用品品 解源品类变形态态态定识计量或频

顕敏金なるもので、分析計量を に民が開拓民として分村町世に依

一が、完全を無智潛院をしてあるわ が態の所在はつひには敏能には幾 れの命機は絶だれてゆくのだった 置は傾つて死た、意思も領上をふ 生死の道にあつたわれくは隠

数字では飛び上うた着底の刹那 石炭の推進機がからくと

優を 登覧した。やがてこれが一番かか、一本後に固かに漂っ

提問長は微笑を浮べて歴長の掘し

器の低へと数を激した

運搬に対威、さきに流域域で司令官

贈られた釜山

炎々と洋上に燃え掘つた原南に奈た、新郷な副鹿が四へられやがて 飛ばされながらも陰暗を保つてあ

成果にようて假は礼た 〇〇直窓の外を多とう」のおほど

一路・二路・ン級と比較すれば帰 いっぱい を続いて てやりませら といふ

でもの人宗でもや致命的な故障 を突 き止め さが、片脏原行の「行な副をじつと見たのであった、一関トン級油 暦 鉛でめること」 楔段長に衝突を着べて歴史の事

貯蓄なな伸び

3

局信遞石白 談 任 歸 長

★ 復編期、十六日局長齢で現験の活 是法學安的北級遊 京瀬して十五日

局の夢りと関 は大角の協力 な成績を無け な成績を無け

電信電話の隘路打開に輸出せ

徒でもコー酸の努力

まとく伸びる度合を

一般信息階をが、各地とも相

解してゆくより方法はないだらこれも解析者の理解にようて打 が遊なり合つて位信、位話の場 がいへる、郵便局自帰はあたりは郵便方面でも同じやうなこと 厳略打開に戦出すことだ。これあるが、要は局間から被極的に

四類)であり締切は七月十五日 開先を納受府協商品別数限内、 別能移住協管である、最累は七 月下旬新聞に發表する

等一篇百吨/三經一篇(一篇五十人题者には一等一篇) 三回。二

因で一般計一人思ステの富電用機器 一機力凶三千四、臨連総道者社名民事部長望を訪び締の個人名儀で 金として手続き方式 工式に設別した同様は、式後木匠 一十五日の釜山原町兵事で新観省竣 かさんと質用機配納を決強したが 脚をなど、東せて階級の大空へ羽物

取扱み、この火艦には脚の状況・ 高州品、新兴 たは同時に帰収 と行列、官民をい を行列、官民をい 対照原物での他 歌園がはの趣味と母し帰収内語、多数、一般に園屋生活相談所を開設、多数、 政権理に九時刑を財命した 発展からそれぐ問が治りむ **信材社會、玉利樹蛇、松野隣領の**

行

日本鋼管工場

南方嶼県近して回径に300万には原行自的報用場合 ・ 実他 解解は、1年8歳、防風解説、配給財庫 「大他 解解は、1年8歳、防風解説、配給財庫 「大地 解解は、30万円に、10万円に

京城職業紹介

所

伝統した。

11 | 府職盟では上計日午後で

一、 面接 他

字世しめどるに付出後連備午前九時(成用著は廃館と出のこと

生活相談所

中、映画した時とも実動員の指揮に使 幣品の| 磨頭 のは今年は一時収止めることでな 神宮錬成大會 【果豆蔻結】明治神宮國民縣成大 今年は取止め

の引渡し法場合によって行ふ、まて取扱ひをしない、但し旅行用品 (仕入契) 最初です 時期です 時期です

飛行機献納基金

與 十三百年(內二百年) 與 十二百年(內二百年) 與 十二百年(內二百年) 與 十二百年(內二百年)

戰時金融金庫 (養本金)((1817)

累計 【國防歉兹】百七五萬)日祖一三国军王面

明るい氣分で

耐乏生活を

| X四十二百十四五歳 【飛行億歳約 | 大金] 十一萬七十六百七十一周四十二 | 極 放送圖 18 🖽

時間一帯の路線(1)宮原道甲2 ・田原子、朝線▲1・田の旅館所の 田原子、朝線▲1・田の旅館所の ・田原子、朝線▲1・田の旅館所の ・田原子、朝線▲1・田の旅館所の お話『日本の規模』 第一朝 11.00

送

產

三共のメルクロン 種子と上墺の消毒に らら 夏城府中區 這級的一丁目二七 い農薬 品粧代堂生資



な問着の検念は一歩映解所に勤み 「見もとをで粉々と飛びくる火箭を 検索のお言言がななどといった疾動。 の塊りなのだ、四、五間はなれた

を開れる社論心が、十六日今文章 に自然の第十代対しいを何に想 機器を卸下限

教後の攻略を思うたがらと哲長は できとわれながら不成配するに 説的大力場を與くたのだ『あの昭 川を聞い書いいるととと が経験は無りに無つた観と顔 畏し皇后陛下 見襲めらゆる眼候性や祇服して はるってでなったらしいが、 が贈るが上次ととりつく

はわが強攻を無知してあたものへ なれてある。間報網の聴望した敵

り載う酸層だ。上を向いても下いつか見えなくなった、文字通いつか見えなくなった、文字通いつが見るなった。文字通

ない切ってあるどううか、特談防衛的はは防殿 治臓を削り消さればならない、腹膜水蛭の間段 常に換しても周智能能するとなくおもついて どんな空風にも役立つやう平崇から恐怖をし非 突襲を受けることを緊ਆせねばならぬ、そこで

対象を表しています。
 はいれば、大利日や第三日は建筑にのため会の別かる。 学知者などに対すに課金さる。 写別当 接頭下での世女会な知ずに課金さる。 写別当 接頭下での世女会ないが、 すべての取替なる。 よとら表現の町に考える) に成立しが連続。 はなりないなどは、 すべての取替なる。 はなりの実施に済はすって になって になった になって になっ

の動物制能所が経経的防治外に状況を確例

されず落ちついて行動し、敵に心の阿を則

いりをりするとはデマの因となる。デマに液はに信頼し、勝手に損傷し、軽入しく吸つたりは

り、十六月間最局から研究された

園苗木部

れたら屋内屋外ともに原則として休憩または中

で深々と包まれ、すつかり月は 際にしてもじや、発行し得る神

ある、この後の器川附近は小

さしかくると実際がからかと図

第一へくと 飛び かりを命の領と信み、 難らと

しからわか方金機揺場が過じい

後上海上の路破合計三十五

「大陸路地震并緩進光度上五日後

館が本大照見を開けた、十一日

この圏子ならうなく行けるぞと はしや言ながら進後したが支那

が何もなく物形もうがいか。 が川に行けるどうか低い、引込ない、この質目飛行で乗して が川に行けるどうか低い、引込なうとはつをがかうした暗夜と 本恋の原を萌くのに好物合き、

できり取り落すことは困難である、國民は阻火

関が一般であった。

るが聞い大空では終了の極機を超へて一機も

一個の第二部門最初的される場合

大攻勢は増産から

む人は船が終程としか似はないであらう、随しい暗道間域の際間 の物の資助があった。それも地では核せない。よし甘いた所で設 とお駒田のするだとさかはるかと終え子七目世の自然に様み高橋 の類似に記念に行おされた。そこには疑問たる火粉と歌画の頼れ 城に立つた記消は、空間にも解姻は、むまりにも思つ言る暗場 归続の物汁に掲ぎ換鏡館十の放開を除職すべく知白ひ込んで帰職 安中吉出す無限の領庁に対正面から取り組む、概を細す映路版士 りながら皆機を、千稜を、頭に脳機を、盤を、武 ・な汲み、ひを冠る火の腕を叫へ、巨大な機械を操 器を、物丸をと間接触力をる例の増減に視聴する りながら首機を、千機を、頭に周機を、脳を、武

配である「智慧」は顕著出版作は「朗政権関係」

は一刻も早くこの顔騒動の均線地ものではない。正面のところ記略 いるが、そんせいで野場ける 明けても終れてもこの脳間と紹 作集衣を置うる記 下の勢音を考へ堪へ難い勝質に

(13)

込んが間、見事に単柱をへし折ら一難け間の腕で物類を防ぐことで精 足もとまで粉々と飛びくる火箭を はれた、様になったら時間中穴ったい内がら行くつしむとなった。様になったらいはに関かというならいけませんかと同くば、冗談いなな姿になったらいはなったのでは、ではいるなどのでは、一般になったらば、一般になったらば、一般になったらば、一般になったられば、一般になった。 とにかく出鉄形は照例が扱いしといかく出鉄形は対し さくん だからわと 工芸から狂 分の交替まで発を十二時間に終で で日と00トンといる戦時非常生 める。それも智は一直帰に十人は 一種は別の大時世分から夕の大時世

がの物を作る人なの数はまった 顧明と取り組み、頭丸、藍明の茶

信には規划へ身を掘して巨大な程

飛ふ熱鐵に着物は穴だらけ

く問題がほどおければくもはん

とうないではといいというない

しい響きる

五回づ人戦闘石やコークス、石一牌の頃の頂部からは十時間に四

ある。大利に以

られ、同日午前十時保利養正治

いったい向臨から手を出し

でもつて関係下腸の御沙汰あらせ

光崩する。その論論に同耳なふさ は七百度の機成となって短所域に一 の意では九十度や自成の組織の つかり行うてしまるのだからそ 毛は岩、明自だ出てす といって特別は「作詞表に足殺」と「休まむることが一種的です」

太い筒で

出戦が終る

もいはれぬ影響の流れは三茶様の つた、彼といるが、などいるが得

と記憶される。神を見れ 火の粉での水流 び石が組入される。大きなパケーツを増上物で傾用まで引つばり めが、狂情形の分配器が開いて めが、狂情形の分配器が開いて が、な情形の分配器が開いて

熱風と轟音の塊り

なつた。既工が機能した湯出 いく出気なのだ。防熱面をか の桁土を燃料でガンく売いてあ る、虚影場に財配する一切の係へ

出統合闘がなされた、次の工程で

政は出来た。建設されて印管は七 八個場から窓ざかつた。ぐわつく るめの 下で待ち受け てある、 人の大きな機能を行んだ機関単が **ある以前所へ既然を態ふ元十トン** ぶく火花のなかで、溺やノロの 了る的統工物は必死だ、統れが **延び流れる。 耐酸の破壊で割断** 正に熟録。る例で、

の正面へ廻して粘土を打ちこむ ので、出機には先づこの粘土に 務方法的のである。統れに向いた 所で左右へ別れる。一方は上層部 を流れるノロ(戦略)で片方は弱く 身限年回ジーンと配置が無くなる

> の意といる、恍惚として火の河 如くサラくと問りなく流れる 字四目度以の場合場位を統 ことである、健康が良好で温度

数の関係者を特別に扱めること

れるにも窓の小川のせくらぎの

既技大會國民懷所大會、國民致成 以来、今年は第十五回目を迎へる

五(四)新祖教告大・三つ白企

◆脱腭鱉维忌

代迎店昭和實業緣式會就

短點本局五八一番

で★六・○○今回日の時間

神をある。 場場、光川線が

火の河は高級調へ落ち込むあた 自然の光を放らながら流れ出る

ずり込まれるやったれるによる ノロをかき残してみたが、引き し要へ次四項い段権をふるつて を確似してのた旧塔も火勢が少

やうにぐにやりと問つてあた初 先帰」、三尺に肩がに振し始の ラボンフランチ **けあがる、 座いて機様を引く**

続うをら大震だ。スラくと流 出し口にマツトガンをドンと打 さ込んだ孫で作い衣をみたら既

促げ穴が出於てゐた、何もしな **本**類 原 本 布

ちち經腺療

はれる熱に M A CHO 社會式物集製鋼機 源次次集

第一次の日本的な、製造の製造へ の一次の日本的な、製造の製造の「おりなくの」は、 を設定を配置な客館(よっか)は、 では、大きのである。 では、大きのでは、大きのである。 では、大きのでは、ためでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、ためでは、ためでは、大きのでは、ためでは、ためでは、ためでは 朝鮮軍報道部作品 總別出方漢學·剛本 河西明·黃明·最能 明上茶聲 朝比茶聲 ら知み

も往く時本類で練習してあた

製人心

朝鮮文人報國音では鮮利な笛で半

で往く時線器した者が会員代る

すたの決機能勢即處在鮮文陽音線 職大會を十八月子後一時から時 所能協権の関係代表者の説辞が 殿族を一段と 燃えゆら 林繁樹(半島) 吉丁(滋郷) 傷

小說,嬰母

短歌、韩旬、川柳など各部貿易 に割し答用を行つて決談文を附一 軍魔の門出を祝ふ

表る士一日「川府西職等東京 ある。虹脳採用経過が行はれ、多

して杭州朝に、またパイワス圏のて支那事能のさなか、突如と 大陸の野を急遽した記録は新らしい、比院リ の類就が大洋波のごとく

(前略)われく一同非常に元盛しい使りである じました、この上は身を粉にし 気です、いま比ながら残々は自

即力時から三指公園で思行する 五人迎家族殿安縣成會 至十八月二 みで敷図を持懸して と自宅から草連卒業の貯金額代の

郎を 四を、同門官川前を記長は金十四 表彰金を献金甲の歴

者の實際調査を資施してある

かく、作品としては高く

寄せた、回金額は何れもは防険員 の版として製態機能されたもの を主、日東大門職へ高國歌をこと 集團旅行者

時から町工會師所見録だと各分

◇伊藤大輔の原作、荷川になう

北高級素人下宿 水高級素人下宿

専門の

九機引 安類

桖

朴

製

品

群軍報道部指導作

ベンガルの月

電話光③

姓名在社

盟

水原郑仕奉 隊長は十五 日年後一

仕奉挺身隊結成式

の。設式を銀行した

前月に申込め 田中前埠頭局長

が、大衆に媚びるとに汲々として

本語の記りないのたと思いたり を記念がしたり図道を下として の記し渡っるは「ておを記う 京 版 四 四 上村も同秋 の 20 元 から 20 元 で 20 元

んさ隊兵響

夜 六 時 明 明 明

若

趨

金成

| 海伯

金徐

通信!

用器(

金本計理事務的

八月末2 00年二

開始の前月中旬までに申込むやう 合管理事に成む、十七日十時廿分 する、何新比小野埠頭居長はこの 局其田中清次氏仗明綜介強組合版 古时をいて記述した前台川地震 仁川埠頭頭卵車とて家族同保建仁 術など、彼ならではとまで肌汁 世や関策性からあると、経過いゆ

則於官聽彼此工場等に今後は旅行 金組聯合の理形に対任

STANTAGE STA

総となるのであります たちのお詞へ何紹公言る手近かな 家東間東凸

の場所出来はの

質が似年より強いですし、買いた 一類の自鳴の目で以前りをするやう のをそつくりになしろといるぞう では国ります、今年は関係の支給

なとは決して申しません、しかし

「既ふ生岩」をレつかり打ち倒て、てるべく一個國民の一人々々の最 空観が至の発信は出来てある 家族では智波を扱と 備の常非 学に多数はないとかる 廻りたがるがこれは曖昧 数点数とかいってから

よる語なが、いきい

てはなく。一個網句もの問題が展 いよく関係の度を禁めつくあり って欧攻を帰返し、脳局の増和は 酸はしつこく我が占領領国を競 地をお伺ひしました 申認めりません、明鮮取落場行 いるのであっていいま

聞きれてあるほうですが、昨今の

符つやうではもう疑いの である、こん注意子供が面白

> るから、ふだんの手供の で思さな記録を引起すこ 非常の場合はこんなこと にようないなならない

として天野することで、

語とは

朝吹いたものも公朝気は大丈夫い 四、五枚入れて一様に必言まと

野歌の 脳訳は 先つ一定 金額を 貯金

を存ばれてるまずから、同じく

でありますし、殖種的立金も行さ

答

これらなしいと「畑の目間の目で収益りをするやう
あれらなしい。」人々は高速波で関を影らませて、

貯蓄の秘訣は天引 質與を兵器の増産へ

貯蓄の必要を聞くまでもないので 期は、おけて貯蔵と振り向けて置 ひたいものですね、今丁度表る上 過動が展開中でありますし、今更

前線の設備へ一機でも、

一殿でも、一殿でも終く題るため

に、原語生蔵を撮形する資金に充

て「私一人はこれだけの金を持せくもすると、自分を根準として「私一人はこれだけの金を持

者へ方をしてゐる人が一〇日 へでは劉氏出発るものではありま

いから、なるべく三岩金を少くせ 第二回部段金附近明預金を禁塩中 用な似には何段でも当出せばいく ねやうにすることです。勿顧現金 よといることで研究して強いてス せん、それから手許に現金を置か いま前回評判のよかつた

るよい方法はないものでせうか 恋の家すので出来るだけもたせ りますと種質が言いたんでし NATION OF

門 之から、だんだんほくな

献金 しょうといる出版い経しいます、それがとりもなほるで私

御殿を炊く利に使の原を 或的底石者、即28mg系数、到 夏安局では今後国内においても見 の他類似的旅行者等も可及的に月

う防空面響や牧学と智 どとなくイサの場合に

選及日帰事務節長は次のやうに記 るやうにと十六日

他製削で扱れんや、わ 確認に際はされる **第28年の第一回
東京は四日
をプレ** 語に触へあれば姓なしといることに置くとはないのだと思ふ た原腹して所属を絶べる次第であ 中堅勞務者讓成會 筆化 託 J.

敵襲なん

ぞ恐れ

h

Å.

係者が神前に参列、建造中の次厄

限つことが出來る、船底が出來る

に暗塵を放つかの區間に仕切り、 の際は船位に指引力を聴へると共

に先をも命名式が行はれる、遊水

が大陸完成するとこれを海上に浮

の標道物の建造にとり掛る、船隊

とその顾縁に一定の間隔を置いて

れが他の部分に及ばない場である 第一そのある膨脹に淡水してもそ

次に外板取付けが行はれる。肋

起工式は陸上の建製でいくば地質

まつ起工式が膨脹に執行され

船の出來るまで

先づ嚴に起工式

艤裝を以て工事完了

を被ふと共に工事が凝固に進行す

ことを動職し出來上つてからの

始鉛合に盛かれた館香髭木の上

人間の肋骨と同じ役首を持つもの一 肋骨は何れも配配の外形に従って

関板を確後に最前める、之を外骨が全部で撤ると助骨の外側に

後には影響は海に浮び戦水は受了する

せた宗人卿かと消り出す、十数数 式場に導かれた支網が切職される はせる、これを追水といひ、進水

祭器を乗り切ってその傾命に過進 試過幅で映版がなければ個々船は

と安全に盛が外れ沿際は自然を

海上で既然に航走して見る、この の動作が顕微であるかを見るため 定通りであるか機関その他の設計

好と叫けられる、これは

鐵壁の防空態勢は日頃の訓練

四人を死亡として招き、新しい証

ら仁用離社大前で影響感大にこれ 機能と映すべく十七日午前十時か

が批行會を行ふべく準備中

運轉修業の學費を献金

近に感ぜられるとき

を担はせる海であつた。

の測反者は機関限制する方針で

なほ同日は文教に遊詣の深い協議

した00名は近く劈頭出旋するこ の服装者中から選ばれて採用決定一

迦原指示の下達狀況、常命開催を勝國民府著台帳の際埋と支部

とになってゐるが、府でば前途を

活指率状况、貯蓄地能指導状況、決破生

請した、この指導質師は八月迄 今後更に一段の決なと婚記を要 関目運動状況などを詳細視祭、

野で設まする

たが、今回その第二回目が七川府

ず起本論が工場から支給される 参加人員は百名、資格は前回局から計日の十二日間行はれる な伝本領成期間中は戦動扱となら 宮野町の京砂道昌民鉄成所で九日 時迄に富平時前に集合する 機で入所指は六月十九日午前十 の一般を目頭に控へて学問がは長は歌

あす文學者隱紀大會開く 指導肾勵班

が繰り出す 日婦仁川支部

く咲に後銃

秦重二誠赤

い、この背年の粒氣 をみよ、これは京城

は

健氣な女性

これだから日本は強一が応じを経験せしめた、この青年

これを聞き感激してまた献金

質の私型の使命と思つてゐます 墨粉泉が、花町第二、第二子母と 既なりて続成、初日は本町、 ら一般時生活指総督助班を織出した し、日帰仁川 支部では十五日か 一般に対している場合 分質に力武、盲脳兩項事品に三素 質軟斑は池田支部長り下各地電響 先づ分會諸高将の陸押駅記特に

一所を訪れを認村出らしい一斉年が

選ばれて大陸〇〇に雄飛玻璃せん

田間を敷積多数服装岩中から見事

としてある俳優な国國女性四名が

に溯ってゐる十六日朝南大門派出

場だとの頻果が街々 题一页法 统经会员

> 同君はかねて自動車消勢手を忍ろによると つきといび朴柄な質様で融るとこ

> > 人の乙女軍魔

寒盲風を禁止して 「どうか國防獣金にお収次下さ 戦金を依頼、その資源は限度

身を粉にしてご奉公

一人的とてない。と思うたら、同 のからか、ほさくくと話略が深い でなる。略配の形の・歌く音の生 えた百級が扉から変出てゐたが、

個月にもなるが、犬を管て、それに

経、龍子の終に死て、もう、三

さういふ、微質もなかった。

手渡器干閣子さん(こ)宮町二三円信子さん(こ)を町一ノ三九打字 心二、花町一と三万打字主風線 宮町一四 電話交換手 際田間さ

採用総断に率先刑券したが怠励叶 初めて、光階部の感謝語域とされて 単風として出頭するのはこの人が 雄説せんとしてあるが仁川から安一 を離れて超く00に女鼠地として の四人はこの程所で行はれた範疇一その書のところに 打学手大山美男子さんこん 採用に決定、散然親の一麼下

てある。その下に、背景の若い男

場にと追びたてたのである。一

自分の関係する研究

で成交社服務課別株式會社が、東方ビル三階)

不か生えてゐた。その中の一

統省助員に倒する民衆の指導 決戦下の突 そこは、水上級の空子級から海 がなとうると、駆すの元代からの家 たとうると、駆すの元代からの家 坐ってあた。

がやらされる筋合ひなのだが、である。皆り前なら、長男の相助 単子は父から用を営仰って死たの 地があった。そこの翌年りに

は他からの大金も、雑作など どういふ心質なのか、林錫社は 能することさへあったのであ

が、大がもく、その行物を思

型子は同だか、彼を父に添はれ

クロタ

齒科











¥ 0.35 0.50

~西森

原計

[理

元事

務所

THE STATE OF THE S 1800 黨民議會

ふあひしいかく ちんんゆ ちせぜくきが のもんもんりさ 水田

科病性·科内

大物で変異っ

州職業 紹 介

敦岩町三仙橋電停隣 電景 ③ 1657 X光線·人院超度

1世紀 の 月ん 服京 京 京 京 京 記 城 六 記 社 加 医学学士 交仁柱

一第 座 治 明

185 海

はなるべく問題を持くして過水さ せたいからである、これらの水に 錯設期、誘機振を門付ける、 の食は、吹食店の食は、吹食店 が、これらの不 が八名に通した れは丁茂を白の頭扇をボげたや

見渡す限り、藍一色である。そ

さう文から命ぜられたのだっき

京日東内科金(印金)東州(中山田 後久)東州(中山田 後久)東州(中山田 後久)東州(南山) 新山 医甲基黄酚 八角阳极 医多种黄酚 八角阳极 医动脉性多种大角阳极 医阿拉特多种大角阳极

地域丸に 段泌性病科

組

國 日今芸芸

5際

密

ある挑戦者 (二)

0)

書(46)

鄭支廷(給) 李無影(作)

引越荷造。

Œ.

喜輸る| かき

圂 スむ

りか 展 船

るが、現下の船船増産の重要性に十日間に亘って三陸で開催中であ

と該々工事に指手する、開骨を 質質となってある。これが終る

上科學技術展しは表る大日から

近くべき当断知識の意つかを曾出 野み競る國民の常識として心得て

は一萬の船底となる。これを二十分は、その上下両面に関校を寝れるの如く並べ底に破骸の校を取付し

船屋を前後に仕切る壁である、

の辞遺が終りに近づいたのであつ 外板や甲板が終ると配舗の主要部

がかんでからの工むを確認さ

五月だ。初夏の蘇を見るのも謀く

求い記念は日本十二

水溶医院

『おや、いってくれ。季節は正に『は、いってもようございます』

の時に廣陽壁を取付ける、これは

が甲板である

関端で関々組く尖つた胎膜を締め

から拾って見よう

一般非常措置によりカフェーや 一発天かと見れば、見てあるうちに 製は色々の形をしてゐた。 型の の雲が珍しい程の

行かぬこともないでせうと

てゆくがいくよ。行かぬかないできった。魔子、あの男を引張つ

引越荷重量品機械類

團.

電本②二八八番 2世本②二八八番

ンガ

ル隊

羅文^{日十}

裕製 之类母畫ス

京場劇南城劇

、急に肌ひついたと見え、

空との原別がつかない錯點をおこ に唱いてると。擬風もなく船的 視野にはなかつたが、関が可能 響だ。 たことはないだらろ。九時のでい い。とうせ、大派君も明日は大し「おや、大派君と一衛に行って承

とすらあつた。

の海岸である。和老猫をてあるせ し、京あ、いくさ。海が見て郊え 「ふメメス」 であの放水症の男には、ちと、きであの放水症の男には、ちと、き

ら、頭を呼に 受いて、 際 る様ぢやった 水をどっさり 中部地方の方面が供着性証言を表現する方面がある性証言を表現する方面がは各性証言を表現する。 初京年前二十八 庁山協科協院 羽熊が御婆付めれ跡が地 新京 別線なる者を求む 日本 野郷 代彰、技工師

古着。孫孫人才也與阿斯

が、赤三草

船船運營會原發

安田實 京城旭町二(三越京側ヒル) 電話 本局 ② 四九五五番

橙河金醬 院病科*外*

征けぬ身はせめてもの疑惑となっ 御室公をと女ながらる様々しく ミナト仁川に四

な

放送協会 朝鮮通信機製作所 京城議議工 - 八四 · 電話第〇一四八

御用先

ライ半路コスパルの さん智慧町一丁目七二ほか四名 があたが、このほどその五人から らには整國歌から行られた誘張と を固めたボ川原開係の権際取失 名が認識京成峰を出接し 京城行路版の労務者〇〇一 たのは去る一日、そのう 内地派遣勞務者から烈々の便り

御願ひ致します(後略)帰山區 るでいやが上にも一生脚命やり れました、曜山區の五人のうち りです、金景城除一間00名の これだけの祭骨を受けたことは

んだ、折柄派出所である不始末か この感激の場面は一質の実験を生 がこの腹壁な岩年の氣隙に打たれ ら設職を受けてあた形内中瓜太平 派り居住木戸松卓場(三)――旧名― した。では自分も僅か乍ら歓迎 際にと、一川では十日 一時から曹麗宗と関係者は百名 勞務頻談改會

苏克里信

資格、年齢三十五線以下の内垣に約5万 ・監測 関連第一部 ・配列 成者 1 節 ・配列 成者 1 節 ・配列 の 1 節 ・配列

を庇ける神兵をもの脳級である日は近い原風の如く大わだつみ ある、目指すつぎの 箭上座などなど世界 所に開いた、陸と相談さんは全景 次の加き元祭な第一信吏龍山原役

城隊の隊長に、ほかの三人はそ

消運町台では町内の出社及び既合 選家族慰安演藝會

するが、道からも保管教名が開席

同時きりがつくやら知ったもんち

やない。膨子、お削が明日でもい

企業の實態調査

間く手を握つて繋び合つた、企本 2年も一般など明らで明日都里へ と取り研覧年は首に辿さく泛べて 後の務めに振りします。 どうが國防献金の一場にお加

主席となりが、緊急、陸工会局所 では生活必需品が、資産業組合が 近その最終的方針も決定、民内 水原 郡の金 梁整備も粉々地排扱 の各関係機関の協力の下に對象案 電影 **医路 / 國際密輸門**

は、上田頃人と諸田徳石壁が、毎

球血白

素加增 肺炎·流感 百日咳 關節痛 100 Om **10**至020

所

(湖溪本) 鐵製洲滿 性病科

看護婦學科學和